

10月全校集会

2020年度「国語に関する世論調査」のアンケート結果

（‘21. 9. 26 新聞記事によること）

コロナ関連用語の浸透度合い（納得度％）

1「不要不急」(67. 2％) 2「コロナ禍」(66. 8％)

3「3密」(61. 1％) 4「ステイホーム」(61. 1％)

5「濃厚接触」(58. 9％) 6「ソーシャルディスタンス」(56. 5％)

7「クラスター」(51. 5％)

8「ウィズコロナ」(29. 7％) 「ポストコロナ・アフターコロナ」

新型コロナウイルス感染症・・・「COVID－19」:WHOが名付ける

・2019. 12 中国・湖北省武漢市を中心に発生し、全世界に広がる
(特徴)

- ・ウイルス表面(エンベロップ)上にコロナ(王冠)のようなタンパク質の突起を持っている
- ・アルコールで失活する
- ・変異を起こしやすい

(症状)

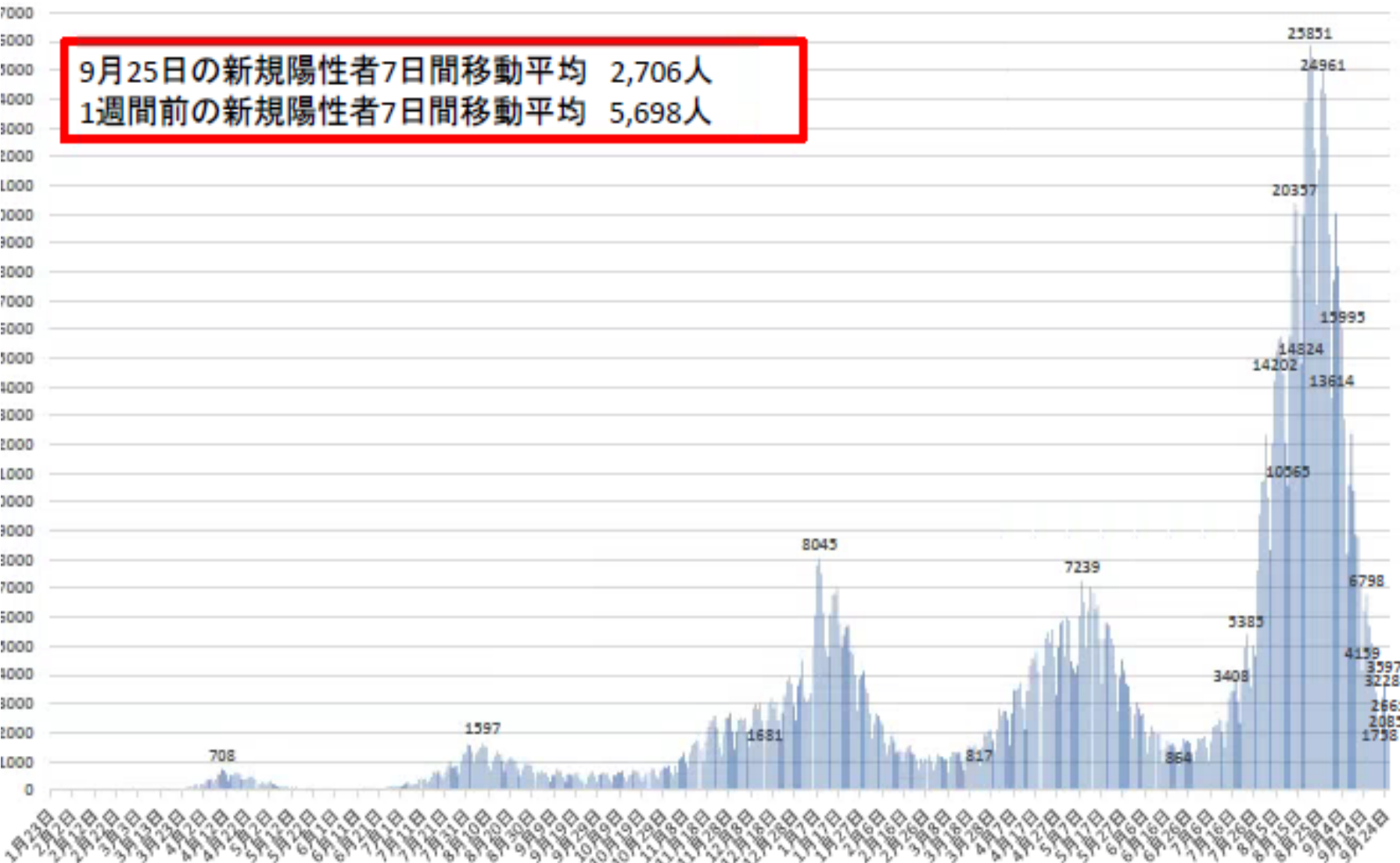
- ・発熱、のどの痛み、咳、痰の症状で終わる場合が多い
- ・4日以上を経過後、高熱、呼吸困難などになり肺炎に進展する
- ・高齢者、基礎疾患の者は、重症化しやすい
- ・小児、若年層では、無症状病原体保有者で存在する
- ・鼻の奥にある粘膜に異常を起こし、臭覚や味覚の異常が生じる

新型コロナウイルス感染症の国内発生動向

報告日別新規陽性者数

令和3年9月25日24時時点

9月25日の新規陽性者7日間移動平均 2,706人
1週間前の新規陽性者7日間移動平均 5,698人



第1波
20. 3月末～5月上旬

第2波
20. 7月中旬～10月末

第3波
11月上旬～21. 2月末

第4波
21. 3月中旬～6月末

第5波
21. 7月末～9月末現在

※1 都道府県から数日分まとめて国に報告された場合には、本来の報告日別に過去に遡って計上している。なお、重複事例の有無等の数値の精査を行っている。

※2 令和2年5月10日まで報告がなかった東京都の症例については、確定日に報告があったものとして追加した。

第1波 20. 3月末～5月上旬

1回目 緊急事態宣言 20. 4／7～5／25

全国一斉休校

第2波 20. 7月中旬～10月末

GoToトラベル 20. 7／22～

GoToイート 20. 10／1～

第3波 20. 11月上旬～21. 2月末

2回目 緊急事態宣言 21. 1／13～3／1

4／1～ まん延防止等重点措置 新設

3／1～ 医療従事者にワクチン接種

4／12～ 高齢者にワクチン接種

第4波 21. 3月中旬～6月末

3回目 緊急事態宣言 4／25～6／20

6／21～7／11 まん延防止等重点措置

第5波 21. 7月末～9月末現在

7／23～ 東京五輪、パラリンピック

4回目 緊急事態宣言

7／12、8／2、8／20、8／27～9／12、9／30
(沖縄、東京、7府県、8道県、19都道府県)

ワクチン接種について①

- 感染症に対する免疫をつけたり、
免疫を強めて個人の発症や重症化を予防したり、
社会全体で流行することを防ぐことができる。
- 感染による重症化などのリスクよりも
副反応があってもワクチン接種で発症を防ぐ
メリットの方が大きい。

ワクチン接種について②

期待される効果

- ①「感染予防の効果」・・・感染そのものを防ぐ
- ②「発症予防の効果」・・・感染しても症状が出るのを抑える
- ③「重症化予防の効果」・・・症状が出ても重症にならないようにする
- ④「集団免疫の効果」・・・多くの人がウイルスへの抗体を持つことで
社会全体が守られる

* ②では、ファイザー 95%、モデルナ 94.1% の効果がある

* 世界で最も早いペースで接種したイスラエルでのファイザーの効果

① 92% ②94% ③92% であった

ワクチン接種について③

接種スケジュール

21. 2／17～ 医療従事者(4万人)に先行実施(国内で開始)

3／1～ 医療従事者(480万人)の優先接種

4／12～ 高齢者(65歳以上:3600万人)の優先接種

6／21～ 職場や大学など「職域接種」

「6月中旬から100万回／日に対応できるようにしたい」

「10月～11月で希望する方すべてを終えることを実現したい」

ワクチン接種について④

接種率(21.9／24現在)

	1回目	2回目
全人口に占める割合	67.8%	55.8%
65歳以上	90.3%	88.9%
兵庫県	65.0%	53.2%

ワクチン接種について⑤

副反応の情報(8／4時点 値：%)

	ファイザー		モデルナ	
	1回目	2回目	1回目	2回目
とう痛 (うずくような痛み)	92.6	89.5	86.5	88.2
倦怠感	23.2	68.9	26.8	83.9
頭痛	21.4	53.1	17.4	67.6
かゆみ	8.0	11.9	5.3	13.7
発熱(38℃↑)	0.9	21.3	2.1	61.9

ワクチン接種について⑥

副反応の情報(8／4時点)

- ・「モデルナアーム」: 腕が赤くなったり、かゆみが出る
→ 冷やすなどの対応
- ・ 重大な懸念は認められない。
- ・ 「アナフィラキシー」(重いアレルギー)の報告はない。
- ・ ワクチン接種による因果関係のある死亡例はない。
- ・ 「心筋炎」「心膜炎」の発症(心臓の筋肉や膜に炎症が起きる。)
・・・100万人中: ファイザー1.1人、モデルナ1.4人

ワクチンについて①

「生ワクチン」・・・一般的に使用。

毒性の弱いウイルスを体内に入れて免疫の働きを活性化
生ワクチンで感染することがある。

「不活化ワクチン」

・・・実際のワクチンをホルマリンで加工するなどして毒性をなくして投与
季節性インフルエンザのワクチン

「VLTワクチン」

・・・ウイルス表面の突起に「スパイクタンパク質」を人工的に合成し投与

「組み換えタンパク質ワクチン」

・・・「スパイクタンパク質」を人工的に作り出す。

国内では「シオノギ製薬」が開発中

※「スパイクタンパク質」・・・タンパク質の突起に合わせるもの

ワクチンについて②

「mRNAワクチン」(メッセンジャーRNA)

・・・「遺伝子ワクチン」の1つ。人工的に合成したウイルスの遺伝子を使う。

現在、「モデルナ製」「ファイザー製」など。国内で第一三共が開発中

「DNAワクチン」

・・・「DNA」を人工的に作り出して接種する。体内で「mRNA」を作り出す。

国内で臨床実験が始められている。

「ウイルスベクターワクチン」

・・・「スパイクタンパク質」を作る遺伝子が無害なワクチンに組み込んで、そのワクチンごと投与する。

米・ジョウソンエンドジョンソン社、ロシア・「スプートニクV」

主なワクチンの感染予防の効果の割合(%)

- ・「ファイザー」(米) 95% : ファイザー社と(独)ビオンテック社の開発
- ・「モデルナ」(米) 94.1%
- ・「アストラゼネカ」(英) 76%
- ・「ノババックス」(米) 89.3%
- ・「スポーツニクV」(ロ) 91.6%
- ・「ジョンソンエンドジョンソン社」(米) 66% : 1回の接種とする仕組み
- ・「シノファーム」(中) 79.3%

新型コロナウイルス変異株 (9/2時点、()内は最初に見つかった国)

○VOC: 懸念される変異株

α : アルファ (イギリス)、 β : ベータ (南アフリカ)、

γ : ガンマー (ブラジル)、 δ : デルタ (インド)

○VOI: 注目される変異株

η : イータ (イギリス)、 ι : イオタ (アメリカ)、 κ : カッパ (インド)、

λ : ラムダ (ペルー)、 μ : ミュー (コロンビア)

治療薬について

◎厚生労働省が実用化に向けた支援事業に指定
(国からの支援金)

○1次公募 4／30時点(* 辞退)

グラクソ・スミスライン(株)、中外製薬(株)、
ファイザー(株)*、小野薬品工業(株)*

○2次公募 9／7時点

アストラゼネカ(株)、塩野義製薬(株)、
富士フイルム富山化学(株)

治療薬として承認されたもの

- 「レムデスビル」 米;ギリアド・サイエンシズ(R2 5／7時点)
- 「バリシチニブ」 米;イーライリリー(4／23時点)
- 「カシリビマブ」「イムデビマブ」 中外製薬(7／19時点)
- 「ソトロビマブ」 英;グラクソ・スミスライン(9／27時点)

第6波に備えて・・・「新しい生活様式」

内閣府からの感染予防対策

- ・ゼロ密を目指す（3密を避ける）
- ・正しくマスクをつける・・・不織布マスクが有効
- ・こまめな手洗い・・・石けん等で15秒の洗い流し（手指消毒）
- ・咳エチケット
 - ・・・咳やくしゃみをするときマスク・ハンカチで口や鼻を押さえる
- ・発熱など風邪症状がある場合は学校を休む・・・外出しない
- ・積極的にワクチン接種を受ける
- ・接触確認アプリの登録、健康観察アプリのダウンロード
- ・リモートワーク（リモート授業）の活用

最後に

○確かな情報ソース

○信頼のできるデータ、統計処理

○SNSなどによる情報の錯綜

⇒・適切な判断と行動

・軽率な言動が人権侵害になる